

# 教育部門

## Q 家庭教育支援アドバイザーの取組みと課題は

**A** 男性アドバイザーが、母親や女子生徒の対応をする際には配慮が必要である。(藤森教育部長)

沖田ゆかり議員

**A** 家庭教育支援アドバイザーは、学力に課題のある児童生徒の学習環境を整えるため、家庭・地域と学校との連携・協力を支援するために配置している。

**Q** 熊野町が配置している家庭教育支援アドバイザーの取組みの課題と成果は。

**A** 課題は、男性のアドバイザーが家庭訪問を行う際、母親による対応が多く、単独での家庭訪問が難しい場合や、女子生徒との対応にも同様の場面があり、複数の教員とともに活動するようにしている。

**Q** 熊野町が配置している家庭教育支援アドバイザーの取組みの課題と成果は。

## Q 町内小・中学校のユネスコスクールとしての取組み状況は



沖田ゆかり議員

**A** 伝統を継承していこうとする児童生徒の育成を目指している。(林教育長)

**A** このような取組みを通して、熊野町の伝統行事や文化に触れ、それらを愛し、伝統を継承していこうとする児童生徒の育成を目指している。

**Q** 熊野町では、全ての町内小・中学校がユネスコスクールに加盟しているが、どのような活動を行っているのか。

**A** 文部科学省と日本ユネスコ国内委員会は、ユネスコスクールを持続可能な開発のための教育(ESD)の推進拠点と位置づけ、加盟校増加に取組んでいる。

本町では、平成25年9月に全学校が加盟認証された。これは、各学校が取組んできた地域の伝統と文化を継承・発展させ、持続可能な社会の担い手を育成してきた「低学年書道科」や「筆づくり体験」等の取組みが認められたことによるものである。

**Q** 熊野町では、全ての町内小・中学校がユネスコスクールに加盟しているが、どのような活動を行っているのか。

## Q 小・中学校の校舎、体育館等施設の雨漏りやメンテナンス

**A** 国庫補助事業を活用する等の研究を進めていきたい。(藤森教育部長)

山野千佳子議員

**A** 雨漏りを確認している施設は、第一小学校東校舎、第二小学校南校舎及び体育館、第四小学校体育館、東中学校体育館及び武道館である。

この内、第一小学校東校舎と第二小学校体育館は、劣化した防水シートの一部張替えや、屋根材の接合部へのコーキング打ち換え等の修繕を行った。

この外の施設は、屋根の全面葺き替え等大規模な工事を伴うため、来年度以降の対応を検討している。

財源については、財政状況の厳しい中、学校施設だけでなく、社会教育施設等の改修も進めていく必要があるため、国庫補助事業を活用する等の研究を進めていきたい。

**Q** 教育委員会は、全て把握していると思うが、今後の修理の予定、財源は確保できるのか。

## Q 危険箇所の点検結果と防災対策は

時光良造議員

**A** 避難勧告等発令の判断基準とその伝達方法を定めたマニュアル改定に反映させる。(立花副町長)

**A** 避難勧告等発令の判断基準とその伝達方法を定めたマニュアル改定に反映させると同時に、県の基礎調査着手を要望する材料としたい。

なお、町民へは、点検結果を反映させた避難判断基準等を公表し、早めの避難行動の参考にしていただきたいと考えている。

**Q** 点検結果をいかに防災対策に反映させるのか。

**A** ハザードマップに記載の土砂災害危険箇所176箇所を独自点検した。

点検内容は、全箇所踏査、砂防ダムの状況等、災害防除施設の現状確認、また、被害の恐れのある区域における家屋・公共施設の配置状況などで、進捗率は67%である。

**Q** 広島土砂災害を機に熊野町は危険箇所の独自点検を行ったとのことであるが、点検方法とその結果は。

## Q 砂防ダムの管理状況は

民法正則議員

**A** 5年に1回、点検を行うこととしている。(森本建設部長)



▲三谷川砂防ダム

**A** 点検内容は、堰堤の老朽度の把握及び、堆砂量の把握が主に行われ、今後の適正管理による長寿命化計画の基礎データとなるものである。

砂防事業の新たな要望は行っていないが、初神地区の墓団地北側に治山事業を計画している。

**Q** 町内の整備済の砂防ダムについて、定期的な点検など管理状況を問う。

また、今後何箇所程度必要か。

## Q 公共施設工事の設計管理と入札価格の適正

片川学議員

**A** 工事契約の適正な履行確保に努めている。(森本建設部長)

**A** 入札及び契約を通じて建設事業者の健全な発展を図ることは、公共工事の適切な施工を確保する上で不可欠である。

本町の施設工事発注は、最新の労務単価、資材等の実勢価格を、積算に適切に反映させる等、円滑な施工確保を図るよう努めている。

また、工事監理については「熊野町建設工事監督規程」、検査についても「熊野町建設工事検査規程」を定め、これらに基づいた工事監督、検査を行っており、いずれも工事契約の適正な履行確保に努めている。

**Q** 町内施設工事の設計計画時点からの適正な工事管理から竣工検査の適正、入札落札額、また予定額への適正に疑問を感じる。これを問う。